法政大学 海外留学の手引き
2014年度学部生用

法政大学国際交流センター
（市ヶ谷キャンパス 富士見坂校舎5F）

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
TEL：03-3264-9662 ／ FAX：03-3264-4624
受付時間：月～金 9:00～17:00（11：30～12：30を除く）
URL： http://www.hosei.ac.jp/ic/

HOSEI
Year Abroad Handbook 2014

For Undergraduates
HOSEI University International Center

法政大学 海外留学の手引き

2014年度学部生用
法政大学国際交流センター発行

海外協定大学

（海外派遣プログラムのある協定大学）

ヨーロッパ

イギリス　United Kingdom

シェフィールド大学 ●●
リーズ大学 ●●
ニューカッスル大学 ●
ブラッドフォード大学 ●
サセックス大学 ●
ノッティンガム大学 ●
グラスゴー大学 ●

アイルランド　Ireland

ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン ●
リムリック大学 ●

ドイツ　Germany

フンボルト大学 ●

フランス　France

リヨン第三大学 ●
西部カトリック大学 ●●
ヴェルサイユ大学理工学部 ●
パリ・ディドロ（第七）大学 ●
ストラスブール大学 ●

スペイン　Spain

バルセロナ大学 ●

イタリア　Italy

カルロ・カッターネオ大学 ●
ヴェネツィア大学 ●

オーストリア　Austria

ウィーン大学 ●

スイス　Switzerland

サンクトガレン大学 ●●

チェコ　Czech

チェコ工科大学 ●

ロシア　Russia

モスクワ国立大学 ●
サンクトペテルブルク国立大学 ●●
ペテルブルク国立交通工科大学 ●

ウズベキスタン　Uzbekistan

タシケント国立東洋学大学 ●

アジア

タイ　Thailand

タマサート大学 ●

韓国　Korea

延世大学 ●●
徳成女子大学 ●
ソウル大学経営学部 ●
梨花女子大学 ●

中国　China

上海外国語大学 ●●
中央民族大学 ●
首都師範大学 ●
北京師範大学 ●

台湾　Taiwan

國立中山大学 ●
淡江大学 ●

オセアニア

オーストラリア　Australia

シドニー大学 ●
アデレード大学 ●●
モナシュ大学 ●

ニュージーランド　New Zealand

マッシー大学 ●
オークランド大学 ●

北米

カナダ　Canada

アルバータ大学 ●★
トロント大学 ●
ブロック大学 ●
ヨーク大学 ●★
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●★
ブリティッシュコロンビア大学 ★
マニトバ大学 ★
クィーンズ大学 ★
モントリオール大学 ★
コンコーディア大学 ★
ラバル大学 ★
ウォータールー大学レニソン校 ★

アメリカ合衆国　U.S.A

トルーマン州立大学 ●
ベイラー大学 ●
カリフォルニア大学デイヴィス校 ●●
ボイシー州立大学 ●
サンディエゴ州立大学 ●●
ガステイバス・アドルファス大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ州立大学リノ校 ●
サンホセ州立大学 ●
フォントボン大学 ●
南カリフォルニア建築大学 ■

●派遣留学協定校　●認定海外留学推奨校　●SA（学部ごとに異なります。）
★日加戦略的留学生交流促進プログラム加盟大学
■大学院デザイン工学研究科交換プログラム

2014　法政大学

海外留学の手引き

Contents

1. 法政大学の留学制度 4
1-1. 全学部学科対象の留学制度 5
(1) 派遣留学制度 6
(2) 認定海外留学制度 8
(3) 短期語学研修制度 9
1-2. 各学部独自の留学制度 10
1-3. その他の留学 15
2. 学内でできる国際交流 16
3. 留学の計画と準備 17
4. 留学Q＆A 19
5. 留学関連窓口・ウェブサイト 20

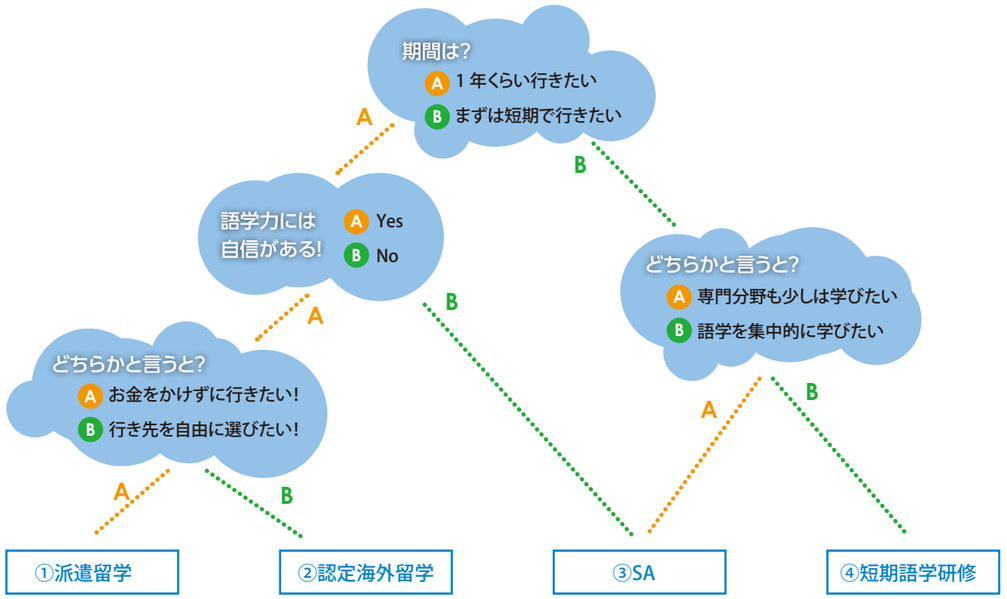
1 法政大学の留学制度

法政大学の留学制度は大きく分けて（1）全学部学科対象の留学制度と（2）各学部独自の留学制度があります。
一口に留学といっても以下のような様々な種類があります。留学の目的に合わせて最適な留学方法を検討しましょう。

法政大学の留学制度

- 法政大学の留学制度
  - （1）全学部学科対象の留学制度
    - 派遣留学 P6
    - 認定海外留学 P8
    - 短期語学研修 P9
  - （2）各学部独自の留学制度 P10
  - （3）その他の留学 P15

あなたの留学タイプは?? ～自分にあった留学制度を見つけよう！～



留学制度	授業料（法政）	授業料（留学先）	法政からの奨学金	期間	行き先	学内選考	4年間で卒業	単位認定
派遣留学	○	×	◎	1年間	協定校（15カ国37大学）	○	○（4年次秋留学を除く）	○
認定海外留学	○	○	○	1年間	自由（4年制大学）	×	○（4年次秋留学を除く）	○
SAプログラム	○	○	○	3週間～1年間	指定の協定校のみ	△（学部による）	○	○
短期語学研修	○	○	×	1ヶ月間	マレーシア、中国、台湾、韓国、オーストリアなど	×	○	×
休学して留学	×（在籍料は必要）	○	×	半年～2年間	自由	×	×	×

1-1. 全学部学科対象の留学制度

法政大学の全学部学科対象の留学制度を利用して留学する場合、主に**（1）派遣留学制度**、**（2）認定海外留学制度**の2つがあります。どちらの制度も期間は1年間で、留学先で修得した単位を帰国後に認定でき、計画的に履修した場合4年間で卒業できます（4年次秋学期入学を除く）。
また2013年度から夏休みや春休みを利用した**（3）短期語学研修制度**もスタートしました。

派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

対　　象	留学年度3・4年次（出願時2・3年次）
留　学　先	本学学生交換協定大学　37大学
期　　間	留学先の学年暦に準じ原則**1年間**
学　　籍	「留学」扱いとなり修業年限に含まれる　※休学ではない
単 位 認 定	帰国後に所属学部の教授会審査を経て**30～60単位を限度として認定**する 。
本 学 学 費	留学中も学費は全額納入
留学先学費	交換協定により免除、または本学が納入
奨　学　金	派遣先により**70万円**または**100万円**を支給（うち20万円は後援会より支給）
手　　続	6月・10月の募集期間に出願し、派遣留学選考試験を受ける。 合格者は国際交流センターの指導のもと、必要な手続を本人が行う。

認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

対　　象	留学年度**2**・3・4年次の学部学生
留　学　先	**自由に決められる**（学位授与権を有する正規の4年制高等教育機関）
期　　間	留学先の学年暦に準じ原則**1年間**
学　　籍	「留学」扱いとなり修業年限に含まれる　※休学ではない
単 位 認 定	帰国後に所属学部の教授会審査を経て**30～60単位を限度として認定**する 。
本 学 学 費	留学中も学費は全額納入
留学先学費	本人が納入
奨　学　金	①「開かれた法政21」本学授業料の半額相当（応募選考型） ②「法政大学認定海外留学奨学金」10万円（後援会より全員に支給） ③法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金（海外一流大学への留学者のみ） 正規課程入学の場合50万円、条件付き入学の場合25万円
手　　続	※応募希望者はできるだけ早い段階で国際交流センターに相談し、申請手続きについて詳しい説明を受けること。 **※留学に必要な手続き等は、すべて本人が行う。**

（1）派遣留学制度

世界15ヶ国・地域、37大学へ
毎年約60名を派遣!

派遣留学制度のメリット!

◎派遣留学生全員に地域によって**70万円または100万円の奨学金が支給されます！（返金不要）**
◎**留学先での授業料が免除**（法政大学への授業料は必要）
◎4年次に留学した場合、帰国年度（春の場合次年度）の学費が免除されるため**4年間分の授業料で留学可能**

派遣留学協定校一覧

1979年度に発足したこの制度は、米国の3大学へ9名の学生を派遣することから始まり、現在では、協定校15ヶ国・地域37大学に毎年約60名を派遣する留学制度に拡大しています。

国・地域	派遣先大学
アメリカ	トルーマン州立大学 ベイラー大学 カリフォルニア大学デイヴィス校 ボイシー州立大学 サンディエゴ州立大学 ウェストチェスター大学 ガステイバス・アドルファス大学
イギリス	シェフィールド大学 リーズ大学 ニューカッスル大学 ブラッドフォード大学
オーストラリア	シドニー大学 アデレード大学
中国	上海外国語大学 中央民族大学 首都師範大学
台湾	國立中山大学 淡江大学
韓国	延世大学※ 徳成女子大学 ソウル大学※ 梨花女子大学※

国・地域	派遣先大学
タイ	タマサート大学※
ドイツ	フンボルト大学
オーストリア	ウィーン大学
スイス	サンクトガレン大学※
チェコ	チェコ工科大学※
フランス	リヨン第三大学 西部カトリック大学 ヴェルサイユ大学※ パリ・ディドロ（パリ第七）大学 ストラスブール大学
イタリア	カルロ・カッターネオ大学※ ヴェネツィア大学※
ロシア	モスクワ国立大学 サンクトペテルブルク国立大学
ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学

ピンク色：春学期入学
青色：秋学期入学
※英語受験が可能な英語圏以外の協定校

延世大学

留学時期・期間

・春学期入学（オーストラリア・韓国）の場合：3年生または4年生の春学期から1年間
・秋学期入学（上記以外の国・地域）の場合：3年生または4年生の秋学期から1年間
※留学先協定校の学年暦（Academic Year）に基づく

主な応募条件・資格

・応募時に本学2年次または3年次に在籍している学部生および大学院生
・出願時直近のセメスターまでを通算した**成績評価係数（GPA）2.30以上**（4.0満点）
・語学能力（派遣先大学ごとに定められた各種外国語の資格または筆記試験）

> 例）英語受験：IELTS 6.0 以上またはTOEFL iBT® 71点以上～
> ドイツ語受験：ドイツ語技能検定3級以上またはStart　Deutsch 2以上
> フランス語受験：実用フランス語技能検定3級以上など
> 中国語、朝鮮語、ロシア語受験：選考試験当日に筆記試験受験

※応募条件に関する詳細は必ず国際交流センターで配布の募集要項で確認してください。

応募方法

・募集期間（春学期入学：6月上旬、秋学期入学：10月中旬）に必要書類（願書・語学スコア・成績など）を国際交流センターへ提出　※応募の時点で上記資格が必要です！
・選考試験（春学期入学：6月中旬、秋学期入学：11月上旬）を受験（筆記試験および面接試験）
※筆記試験は中国語・朝鮮語・ロシア語受験者のみ

派遣留学応募のポイント

・倍率は毎年1.5倍程度！応募資格を満たしていれば、挑戦する価値あり！！
・1年生のうちから語学力向上に努め、学業成績（GPA）をおろそかにしないこと！
・面接試験でしっかりと留学の目的を話せるよう、派遣先大学の情報収集を積極的に行うこと。

奨学金

・法政大学派遣留生学奨学金：渡航費、寮費、保険料および生活費等の補助として派遣留学生全員に下記の奨学金が支給される。
★中国・台湾・タイ・ウズベキスタン→**70万円**、　★左記以外の国→**100万円**
・4年次に留学する場合、帰国年度もしくは次年度の学費は免除される（諸会費を除く）。

派遣留学生体験談

佐藤　友香　派遣先：カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）
所属：現代福祉学部

現代福祉学部では、講義に加え小学校や児童養護施設でのフィールドワークを通して対人援助を学んでいました。教育現場での子どもたちへの援助をより深く学ぶ為、心理学の最先端であるアメリカへの留学を決意しました。派遣留学制度は学部を問わず応募出来ること、そして奨学金が支給される他、法政大学からのサポートもあり、安心して留学できることがメリットだと思います。留学先のカリフォルニア大学デイヴィス校では、教育学を中心に学び、現地の小学校でのインターンシップも体験し、日本ではまだ実践されていない新しい教育的・心理的援助の形を学びました。将来は大学院へ進学し、アメリカでの経験を生かし、子どもたちが心身ともに健康で楽しく学べる環境作りを研究していきたいと考えています。

村上　裕太　派遣先：パリ・ディドロ大学（フランス）
所属：法学部

私は EU（欧州連合）に興味があり、実際に EU の“中”に入って EU 市民の生活や意見を学びたいと思い、派遣留学制度に応募しました。留学先では EU の制度や経済を研究する授業を履修しました。フランス語で専門的な科目を学ぶのは容易ではなく、予習復習にかなりの時間を費やしましたが、実際にフランス人の教授や学生、また他の国から来た留学生と議論を交わすことは非常に新鮮で貴重な経験を得ることができたと思います。派遣留学の一年間は楽しいことも大変なこともありましたが、その全てが私の人生の糧になったと思います。

(2) 認定海外留学制度

認定海外留学制度のメリット!

◎協定校に関係なく、**自由に留学先を選ぶ**ことができる（正規の高等機関で学位授与権のある大学）
◎**2年次にも留学でき**、計画的に単位を修得した場合**4年間で卒業可能**（4年次秋学期留学を除く）
◎**条件付入学**（1学期目に大学付置語学プログラム、2学期目に正規課程を履修）を選択可能

留学時期・期間

・2～4年次の1年間 ※留学先大学の学年暦（Academic Year）に基づく

主な応募条件・資格

・留学希望大学からの**入学許可書**を得ている者、または得る見込みのあるもの
・学位授与権を有する正規の4年制大学において正規課程を履修し、単位を取得することが目的であること。
（留学先大学での卒業は認めない。）

留学先大学における履修課程		秋学期入学 申請時の学年	春学期入学 申請時の学年	秋／春学期入学 共通留学時の学年
a.正規課程入学	1学期目：正規課程 2学期目：正規課程	2・3・4年次	1・2・3年次	2・3・4年次
b.条件付入学	1学期目：大学付置語学プログラム 2学期目：正規課程	2・3年次限定	1・2年次限定	2・3年次限定

※応募条件に関する詳細は必ず国際交流センターで配布の募集要項で確認してください。

応募方法

・募集期間（春学期入学：11月下旬－12月中旬まで、秋学期入学：5月中旬－5月下旬まで）に必要書類を国際交流センターへ提出

認定海外留学応募のポイント

・希望先大学への申請手続きはすべて自分で行うため、各自早めに情報収集を行うこと。
・応募する時点で入学許可書を入手している必要があるため、計画的に準備を行うこと。
・法政の授業料に加え、留学先大学の授業料も納入の必要があるため、経済的な計画も立てておくこと。

奨学金

・「開かれた法政21」**法政大学授業料の半額相当**（例：文学部の場合　380,500円程度）
・「法政大学認定海外留学奨学金」**10万円**（全員に支給）
・「法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」（留学前年度のTimes higher education supplementのworld university rankings top 200以内の大学への留学者のみ）
正規課程入学の場合50万円、条件付き入学の場合25万円

(3) 短期語学研修制度

夏季・春季短期語学研修

2014年度から全学部学科対象の夏季短期語学研修（英語、中国語、朝鮮語、ドイツ語）、春季短期語学研修（英語、中国語、朝鮮語）を実施しています。コース毎の研修内容、期間、費用、応募条件等の詳細は、国際交流センターのホームページ（http://www.hosei.ac.jp/ic/）や国際交流センターで配布の募集要項及び留学説明会で確認してください。

＜応募条件＞（2014年度夏季）

・本学の学部1～4年次に在籍していること（休学者は除く）

・語学要件等はありません。各コースとも現地でレベル分けテストが行われ、自分のレベルに合ったコース（入門～上級レベル）を受講します。

＜費用＞（2014年度夏季）

総額　約160,000円～350,000円

※その他食費や現地交通費等が別途必要。

＜期待される効果＞

・他の国・地域から参加の留学生と共に学ぶことで、各言語の学習意欲を高めると同時に、運用能力を養う。

・言語だけではなく、現地の習慣や文化を知ることが出来る。

・短期語学研修に参加して海外を知ることで、更に長期間の留学（派遣留学や海外大学院進学）に繋げるステップとなる。

【春季短期英語研修 in マレーシア】

【派遣留学（ボイシー州立大学）】

【認定海外留学推奨校（グラスゴー大学）】

1-2. 各学部独自の留学制度

“法政大学は全学部学科対象の留学制度の他に、各学部独自の留学制度や海外研修制度があります。
これらの制度は学部によって対象や条件などが異なりますので、詳細は必ず各学部窓口で確認してください。
※留学の費用については、為替の変動等により大幅に変わる可能性があります。”

法学部　Hosei Oxford Programme（HOP）

対　象	国際政治学科全員（必修）、法律学科・政治学科（若干名）
留学先	イギリス
期　間	1年次夏休みの2週間程度
内　容	オックスフォード大学のユニバーシティ・カレッジで実践的な語学力を身につけるための英語授業のほか、英国の歴史や政治制度を取り上げるテーマ別授業や、グループで調査を行い英語で発表するグループプロジェクトなどを行う。
留学費用	法政の学費とは別に55万円程度必要
奨学金	(A) 参加者全員に4万円を支給 (B) (A) のうち特に学業成績が優れ、現地研修で優れた成果をあげた者10～20名程度に10～20万円を加算して支給

文学部哲学科　国際哲学特講

対　象	哲学科2～4年次までの希望者（定員20名で超える場合は選抜）
留学先	フランス　ドイツ
期　間	2月の約1週間
内　容	アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）とハイデルベルグに滞在し、そこを拠点にハイデルベルグ大学（ドイツ）とストラスブール大学（フランス）で合同ゼミ等を行う。
留学費用	法政の学費とは別に18万円程度必要
奨学金	旅費総額の25％（上限5万円）を補助として支給

文学部英文学科　SAプログラム

対　象	英文学科1～4年次までの希望者（学内選考あり）	英文学科2～4年次までの希望者（学内選考あり）	
留学先	アイルランド	アイルランド	アメリカ
期　間	夏休みの3週間	秋学期の約4ヶ月間	
内　容	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリンでの語学研修プログラムに参加し、他国からの留学生と机を並べ、英語力を集中的に身につける。		フォントボン大学で正規学生として専門科目も履修する。
留学費用	法政の学費とは別に約45万円程度必要	法政の学費とは別に約96万円程度必要	法政の学費とは別に160万円程度必要
奨学金	審査の結果承認された者に5万円を支給	審査の結果承認された者に20万円程度を支給	

経営学部　SAプログラム

対　　象	申請時に1～3年次に在籍し、必要な要件を満たす経営学部の希望者（定員約30名、学部内選考あり）
留 学 先	アメリカ　オーストラリア
期　　間	2～4年次秋学期の約3～4ヶ月間
内　　容	ネバダ大学リノ校（アメリカ）、モナシュ大学（オーストラリア）の英語教育機関でレベル別の語学研修プログラムを受講する。
留学費用	法政の学費とは別に約95～120万円程度必要
奨 学 金	学業成績が優れている者に前年度旅費総額の30%程度を支給

国際文化学部　SAプログラム

対　　象	国際文化学部生全員（必修）※外国人留学生入試で入学した学生はスタディ・ジャパンに参加	
留 学 先	イギリス　アメリカ　オーストラリア　カナダ　スイス　フランス　ロシア　中国　スペイン　韓国	
期　　間	2年次秋学期の約3～5ヶ月間	2年次夏休みの約5週間（ボストンのみ）
内　　容	シェフィールド大学・リーズ大学（イギリス）、カリフォルニア大学デイヴィス校・ミシガン州立大学・ボストン大学（アメリカ）、ヨーク大学・トレント大学・ブロック大学（カナダ）、モナシュ大学（オーストラリア）、ザンクトガレン大学（スイス）、西部カトリック大学（フランス）、サンクトペテルブルク国立大学・ペテルブルク国立交通工科大学（ロシア）、上海外国語大学（中国）、バルセロナ大学（スペイン）、延世大学（韓国）において、留学先の言語とその国の文化に対する理解を深めることができるプログラムを受講する。	
留学費用	留学先により約61～150万円程度	約67万円程度
奨 学 金	(A) SA参加決定者全員に25万円 (B) (A) のうち特に学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者に上限60万円を加算して支給（金額は留学先によって異なる）	

人間環境学部　海外フィールドスタディ

対　　象	1～4年次に在籍している人間環境学部の希望者（定員20～25人、学部内選考あり）
留 学 先	東南アジア　ヨーロッパ　オーストラリアなど　※年度により変わります。 2013年度実績：カンボジア、インド、ドイツ、オーストラリア
期　　間	夏休みまたは春休みに10～14日程度
内　　容	キャンパスを出て現地に身を置き、その国の社会環境や自然環境を肌で感じ、さまざまな体験を通して問題意識を高めるために設けられている科目。
留学費用	法政の学費とは別に約20万円程度（研修先により異なる）
奨 学 金	参加決定者に研修費用等の50%（上限9万円）までを補助として支給

キャリアデザイン学部　SAプログラム

対　　象	申請時に1～3年次に在籍、派遣時に2～4年次に在籍しているキャリアデザイン学部の希望者
留 学 先	ニュージーランド　オーストラリア
期　　間	2～4年次秋学期の約3ヶ月間
内　　容	オークランド大学（ニュージーランド）、アデレード大学（オーストラリア）の英語教育機関で英語を集中的に学ぶ。
留学費用	法政の学費とは別に約120～130万円程度
奨 学 金	学業成績に優れ、かつ経済的支援を必要とする者に旅費総額の30%程度を支給

GIS（グローバル教養学部）Overseas Academic Study Program

対　　象	派遣先の条件を満たすグローバル教養学部の希望者	
留 学 先	アメリカ　イギリス　カナダ	ニュージーランド
期　　間	秋学期の4～5ヶ月間	春学期4ヶ月間または10ヶ月間
内　　容	San José State University（アメリカ）、University of Sussex（イギリス）、University of Prince Edward Island（カナダ）において学部課程の正規授業を受講。	Massey Universityにおいて学部課程の正規授業を受講。
留学費用	法政の学費とは別に約100～200万円程度	法政の学費とは別に短期：約170万円、長期：350万円程度
奨 学 金	(A) 参加決定者全員に短期：50万円、長期：100万円を支給 (B) (A) のうち特に学業成績が優れている者に短期：10万円または20万円、長期：10万円または40万円を加算して支給	

経済学部　SAプログラム

対　　象	申請時に1年次に在籍し、必要な条件を満たす経済学部の希望者（定員約60～100名）
留 学 先	イギリス　アメリカ　オーストラリア
期　　間	3年次春学期の約4ヶ月間
内　　容	シェフィールド大学（イギリス）、カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）、モナシュ大学（オーストラリア）のいずれも集中的な英語の学習と、その国の経済、ビジネス、文化、社会等の講義との二本立てで構成されている。
留学費用	法政の学費とは別に約130～140万円程度必要（留学先により異なる）
奨 学 金	学業成績が優れている者に旅費総額の30%程度（約40万円）を支給

社会学部　SAプログラム

対　　象	申請時に1～2年次に在籍し、必要な要件を満たす社会学部の希望者	
留 学 先	アメリカ　カナダ　中国	
期　　間	2年次秋学期もしくは3年次秋学期の約3～5ヶ月間（留学先により異なる）	3年次の1年間（カナダ・アルバータ大学のみ）
内　　容	ボストン大学（アメリカ）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）、トロント大学（カナダ）、北京師範大学（中国）の語学学校で、集中的に語学を学習する。	アルバータ大学（カナダ）で1学期目に集中英語講座を学習した後、2学期目に法律学、教育学、社会学、経済学、会計学等のコースから正規の学部授業を履修する。
留学費用	法政の学費とは別に約60～180万円程度必要（留学先により異なる）	法政の学費とは別に約180万円程度必要
奨 学 金	学業成績が優れている者に旅費総額の30%程度を上限として支給（採用予定約30名）	

社会学部　単位認定海外短期留学制度

対　　象	ドイツ語初級A・B、フランス語初級A・Bを履修済の社会学部の希望者
留 学 先	ドイツ　フランス
期　　間	1～3年次の春休み期間、2～4年次の夏休み期間
内　　容	学部の認定した外国語研修機関への語学研修参加（ただし留学期間は4週間以上もしくは授業時間60時間以上とする。）
留学費用	法政の学費とは別に約30～60万円程度
奨 学 金	特になし

現代福祉学部　海外研修制度

対　　象	2年次に在籍している現代福祉学部の希望者（定員30名、学部内選考あり）
留 学 先	スウェーデン　など
期　　間	2年次夏休みの10日間
内　　容	スウェーデン大使館連携企業の協力のもと、スウェーデンの訪問を中心に海外の福祉や地域づくり、心理に関わる施設を訪れ、現地のまちづくりや文化を学ぶ。
留学費用	法政の学費とは別に約50万円程度
奨 学 金	参加決定者に研修費用等の60％（上限20万円）までを補助として支給

スポーツ健康学部　海外課外研修

対　　象	3年次に在籍し、必要な要件を満たしているスポーツ健康学部の希望者（定員22名、学部内選考あり）
留 学 先	アメリカ
期　　間	3年次夏休みの2週間
内　　容	ボイシー州立大学（アメリカ）において、午前中はレベルごとに語学学習、午後はスポーツ健康学に関するワークショップを行う。
留学費用	法政の学費とは別に約45万円程度
奨 学 金	参加決定者に研修費等の60％（上限20万円）までを補助として支給

理工学部　SAプログラム

対　　象	アメリカ：1～4年次の希望者（定員は生命科学部と合わせて約30名） アイルランド：1～3年次の希望者（定員は生命科学部と合わせて約25名） ※アメリカ・アイルランドともに生命科学部と合同での留学となる。	
留 学 先	アメリカ	アイルランド
期　　間	夏休みの4週間	春休みの4週間
内　　容	カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、リサーチプロジェクトがあり英語のプレゼンテーションを行う。基礎コースと応用コースに分かれ、応用コースでは週に1回研究所・企業見学も行う。	リムリック大学（アイルランド）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、英語のプレゼンテーション技法に関する講義を受講する。また希望者には企業見学も行う。
留学費用	法政の学費とは別に約40～50万円程度	
奨 学 金	参加決定者のうち、学業成績が優れている者に10万円または15万円を支給	

生命科学部　SAプログラム

対　　象	アメリカ：1～4年次の希望者（定員は理工学部と合わせて約30名） アイルランド：1～3年次の希望者（定員は理工学部と合わせて約25名） ※アメリカ・アイルランドともに理工学部と合同での留学となる。	
留 学 先	アメリカ	アイルランド
期　　間	夏休みの4週間	春休みの4週間
内　　容	カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、リサーチプロジェクトがあり英語のプレゼンテーションを行う。基礎コースと応用コースに分かれ、応用コースでは週に1回研究所・企業見学も行う。	リムリック大学（アイルランド）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、英語のプレゼンテーション技法に関する講義を受講する。また希望者には企業見学も行う。
留学費用	法政の学費とは別に約40～50万円程度	
奨 学 金	参加決定者のうち、学業成績が優れている者に10万円または15万円を支給	

1-3. その他の留学

“これまでに紹介した「全学部学科対象の留学制度」や「各学部独自の留学制度」以外にも、様々な留学方法があります。基本的には自分で情報収集をして応募することになります。”

(1) 休学して留学する場合

休学して留学する場合は、基本的に大学を通さず、個人応募で留学することになります。ただし決められた期限内に「休学」の手続きをする必要があります。また休学在籍料として、年間休学の場合10万円、春学期または秋学期休学の場合は5万円（別途諸会費が必要）を納入しなければなりません。休学手続きの詳細は各学部窓口で確認してください。

休学して留学する場合の注意点

・手続き等はすべて自己責任で進めることになるため、十分に情報収集を行うこと！！
・所属学部の担当者、指導教員、国際交流センター等に事前によく相談すること。
・外務省 海外安全ホームページなどを事前に確認し、留学中の安全確保に努めること。

(2) 大学院留学

卒業後に海外の大学院へ進学する場合、留学先の国や大学によって制度が異なることが多いため、事前の情報収集が重要です。国際交流センターでは主に日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援奨学金（長期派遣）などの奨学金に関する情報提供を行っています。

法政大学国際交流センターHP（http://www.hosei.ac.jp/ic/）
→「海外留学を希望する方へ」→「長期留学派遣制度」、「海外留学奨学金・プログラム」

日本学生支援機構（JASSO）HP（http://www.jasso.go.jp/）
→「海外留学支援制度（長期派遣）」、「海外留学情報ページ」

また、法政大学の大学院へ進学した場合、**「法政大学大学院海外留学制度」**などを利用することができます。詳細は下記HPよりご確認の上、各担当事務窓口でお問い合わせください。

法政大学大学院HP（http://www.hosei.ac.jp/gs/）
→「学生生活について」→「国際交流プログラム（大学院）」

(3) 国際ボランティア・インターンシッププログラム

法政大学ではグローバル人材育成推進事業の一環として国際ボランティア・国際インターンシッププログラムを実施しています。2013年度は春期国際ボランティアプログラム（国際ワークキャンプ）、春期国際インターンシッププログラム（ビジネスプラン・国際協力プラン）を実施しました。**詳細は各キャンパスのGラウンジ**でご確認ください。

法政大学グローバル人材育成推進事業HP（http://global.ws.hosei.ac.jp/）
→「プログラム一覧」→「国際ボランティア・インターンシッププログラム」

2 学内でできる国際交流

法政大学は留学以外にも、学内でできる国際交流のプログラムや語学力向上のためのプログラムが多く用意されています。
これらを積極的に利用して留学前の準備や交流を進めましょう。

(1) ERP（英語強化プログラム）

一定の英語力と高い英語学習意欲を有する全学の学生を対象として、グローバル社会で活躍するための英語力（Listening, Speaking, Reading, Writing）を育成します。対象となる学生は**無料**（ただし教材費がかかります）でこのプログラムに参加することができ、授業の空き時間を利用して英語のスキルアップを図ることができます。

(2) Gラウンジ

英語ネイティブスピーカーである**「英語学習アドバイザー」**が正課授業実施日のうち月～金の1日3時間（11:30-13:30、14:30-15:30）、皆さんの来室をお待ちしています。英語で話してみたい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたい、など様々な希望に対応します。
また上記（1）ERP（英語強化プログラム）や国際ボランティア・国際インターンシップの申し込み窓口となっています。

各キャンパスGラウンジ
市ヶ谷 55年館1階　**多摩** 総合棟地下1階・タマえもん向かい　**小金井** 管理棟4階

(3) ESOP（交換留学生受入れプログラム）

海外協定大学から法政大学に交換留学している学生のために、日本の文学、社会、政治、経済、経営などのテーマを中心とした**英語で**の講義・ゼミが受講できるプログラムです。交換留学生だけではなく法政大学の学生も受講でき、学部によって単位認定も可能です。フィールドワークや合宿を取り入れた授業もあります。授業はネイティブスピーカーを対象としたスピードで行われ、交換留学生と交流できるため、留学を考えている人に特におすすめです。

国際交流センターHP→「交換留学生受入れプログラム（ESOP）」
（http://www.hosei.ac.jp/ic/ryugaku/kokan/）

(4) Language Buddy

留学生（主に交換留学生）と授業の空き時間を利用して、日本語と外国語（英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、中国語、朝鮮語など）をお互いに教えあう制度です。例年4月と9月に国際交流センターのHP（http://www.hosei.ac.jp/ic/）で募集を行い、希望する言語や空き時間をマッチングしてBuddyを決定します。

3 留学の計画と準備

留学を成功させるポイント!

(1) 留学に対する明確な目的意識

自分の専攻分野に関する知識を深めたい、語学力を向上させたい、国際的な視野を身につけたいなど、まずは**留学の目的を明確に**してみましょう。各大学のホームページなどを利用して情報収集を行い、自分に合ったプログラムを見つけて具体的な学習計画を立てることが効果的です。

(2) 必要な語学力と学業成績

留学先が求める語学基準を事前に調べて、その基準に達するように語学学習に取り組みましょう。また、多くの場合**成績評価係数（GPA）が留学先で受け入れの合否判定材料のひとつ**とされます。留学先大学を選択し、出願する段階までに、その大学で必要とされる十分な語学力と学業成績をもっておかなければなりません。

(3) 必要な経済力

例えば、アメリカの大学（学部）に大学の制度を使わずに私費で留学する場合、年間の必要経費は**約200～400万円が一般的**です。また、留学先でのアルバイトは禁止・制限されていることが多いので、出発前に十分な資金を確保しておきましょう。

(4) 留学先国に対する知識と日本の知識

留学先の教育制度や文化、社会、政治、経済、習慣など様々な情報を収集して、適応できる下地を作っておきましょう。留学中は、自分の国の文化等を説明する機会も多くあります。日本についても、できるだけ広く知識を持ち、現地で紹介できるようにしておきましょう。

(5) 安全確認と危機管理

留学先を決定するにあたって事前にその国の安全性について様々な指標で確認することが非常に重要です。留学が決定してからも留学先や周辺地域の情勢に気を配り、日頃から**外務省海外安全HP**にアクセスして情報を収集し、危機管理と自己の安全確認には特に注意を払ってください。

どんな留学を実現させたいか書き出してみよう！

- ●めざす留学プログラム：＿＿＿＿＿＿＿＿
- ●留学したい国や地域：＿＿＿＿＿＿＿＿
- ●留学したい期間と出発時期：＿＿＿＿＿＿＿＿
- ●現在の語学スコア：＿＿＿＿＿＿＿＿　●出願時の目標スコア：＿＿＿＿＿＿＿＿
- ●学びたい分野：＿＿＿＿＿＿＿＿
- ●留学後のキャリアプラン：＿＿＿＿＿＿＿＿
- ●留学にかかる費用：＿＿＿＿＿＿＿＿　●すでにある資金：＿＿＿＿＿＿＿＿
- ●留学までに貯める資金：＿＿＿＿＿＿＿＿

留学のスケジュールを立てよう!

（例）＜派遣留学（春学期入学）の場合＞

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
・春の留学説明会参加 ・ERP受講	・秋の留学説明会参加 ・必要な語学検定受験	・6月派遣留学応募、選考試験受験	（留学準備） ・ESOP受講 ・住居、航空券、ビザ手配	・2月出発 （留学中）	（留学中） ・12月帰国 ・単位認定	・就職活動 ・卒論準備	・国際インターンシップ応募 ・3月卒業

※6月の応募時点で所定のスコア結果が必要なので、春休み中にスコアを取得しましょう。

（例）＜派遣留学（秋学期入学）の場合＞

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
・春の留学説明会参加 ・夏季短期語学研修応募	・ESOP受講 ・国際ボランティア応募	・Language buddy申込 ・必要な語学検定受験	・10月派遣留学応募 ・11月選考試験受験	（留学準備） ・住居、航空券、ビザ手配	・8-9月出発 （留学中）	（留学中） ・5-6月帰国 ・単位認定 ・就職活動	・卒論準備 ・3月卒業

※10月の応募時点で所定のスコア結果が必要なので、夏休み中にスコアを取得しましょう。

あなたのプランを書き出してみよう

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期

Step1：情報を集める

- □ 自分の留学の目的を明確にし、将来の進路にどうつなげていくか考える。
- □ 各留学プログラムに関する情報を集め、自分に合った留学プランを探す。
- □ 留学説明会に参加して、実際に留学に行った先輩の話を聞いてみる。
- □ 国際交流センターや留学先の各大学ホームページ等で必要な語学力や条件を確認する。

Step2：留学をより具体的に

- □ 留学先を具体的に絞り込む（国、地域、学校の種類、専攻分野、費用など）。
- □ 留学先の学習環境を調べる（滞在方法、治安、施設、留学生の受け入れ体制など）。

Step3：出願、選考、受入れ許可

- □ 必要な書類を把握し準備を進め、出願する。
- □ 留学に必要な手続きをする（各種書類提出、ビザ申請、送金など）

Step4：渡航準備

- □ 住居、航空券、保険加入、クレジットカードなどの手配
- □ 現地および国内緊急連絡先の確認

4 留学Q&A

語学学習について

Q1. IELTSやTOEFL®のスコアを上げるにはどうしたら良いでしょうか？

①ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジでの英会話を積極的に利用し、総合的な英語力UPを図りましょう。
②両試験共に受験料が高いため、本番試験を繰り返し受けるのは得策ではありません。市販されている各種問題集やCD-ROMなどを利用して、練習問題を数多くこなし、慣れることが一番重要です。AVライブラリーでも対策問題集の貸出をしています。
③法政大学エクステンションカレッジでは、短期でIELTSのスコアアップを狙う講座も開講しています。

Q2. 英語圏以外への留学を希望する場合、各種語学検定は受けた方が良いですか？

英語圏以外の語学検定試験は年2回程度しか受験する機会がありません。現時点で各語学の検定試験を派遣留学制度への出願条件（必須）にしているのは、フランス語、ドイツ語、イタリア語のみとなっています。しかしながら、検定試験を受験することは勉強を続けて行く上で目標になりますし、留学に対する意欲の表れとして評価されるはずですから、積極的に挑戦されることをお薦めします。

費用について

Q1. 1年間の留学にかかる費用はどれくらいですか？

留学する国、地域、大学や個人の生活レベルによって異なりますが、一般的には渡航費、留学先授業料、生活費、その他を併せると欧米圏では年間200～400万円、アジア圏では年間100～200万円くらいが必要だと言われています。派遣留学の場合、留学先の授業料はかからず、奨学金が支給されますので、自己負担額は20万～60万円くらいです。

Q2. 奨学金を利用して留学したいのですが…。

法政大学の留学制度を利用して留学する場合には、法政大学の各種奨学金が利用できます。また外国政府、地方自治体、民間団体等が募集する留学のための奨学金も数多くありますので、国際交流センターの掲示板や日本学生支援機構のホームページ等で情報を得てください（P.21参照）。

就職活動について

Q1. 留学は就職活動に響きませんか？

現在のところ、3年生の2～3月頃から説明会等が始まり、4年生の4月から面接などの選考開始となっているスケジュールですが、2016年4月入社の採用から、3月以降に説明会等の広報解禁、8月以降に選考開始となります（経団連倫理憲章による）。秋学期留学の場合は5～7月の帰国であるため、現在までは就職活動のピーク時には出遅れる形でしたが、これからは採用時期に間に合うため、留学した学生にとって有利になります（ただし、外資系や一部企業では倫理憲章に従っていない場合もあるので、留学前によく調べてください）。また、グローバル人材獲得のため、海外留学経験者対象の就職フォーラムを行う企業も数多くありますので、留学した学生はそういったチャンスを生かして就職先を決めています。

5 留学関連窓口・ウェブサイト

(1) 法政大学の関連窓口

国際交流センター（市ヶ谷キャンパス・富士見坂校舎5階）

取扱業務
①留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修
②ESOP（交換留学生受入れプログラム）、Language Buddy
③市ヶ谷キャンパス学部のSAについて、他
受付時間 月～金 9：00-17：00（11：30-12：30を除く）、土 9:00-12:00
電　話 03-3264-9662　E-mail ic@hosei.ac.jp

国際交流センター多摩分室（多摩キャンパス・Egg Dome2階）

取扱業務 留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修、他
受付時間 月～金 9：00-17：00（11：30-12：30を除く）

小金井事務部学生生活課　国際交流支援室（小金井キャンパス・管理棟3階）

取扱業務 留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修、他
受付時間 月～金 12：00-16：00

グローバル人材開発センター事務室（市ヶ谷キャンパス・55年館1階）

取扱業務
グローバル人材育成プログラム全般、ERP（英語強化プログラム）、国際ボランティア・国際インターンシッププログラム、国際キャリア支援プログラム、他
受付時間 月～金 9：00-17：00（11：30-12：30を除く）
電　話 03-3264-4088　E-mail global@hosei.ac.jp

市ヶ谷Gラウンジ（市ヶ谷キャンパス・55年館1階）

取扱業務 ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジに関すること
受付時間 9：00-17：00（11：30-12：30を除く）　電　話 03-3264-4502

多摩Gラウンジ（多摩キャンパス・総合棟地下1階タマえもん向かい）

取扱業務 ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジに関すること
受付時間 9：00-17：00（11：30-12：30を除く）　電　話 042-783-3018

小金井Gラウンジ（小金井キャンパス・管理棟4階）

取扱業務　ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジに関すること
受付時間　9：00-17：00（11：30-12：30を除く）　電　話　042-387-6281

各学部窓口

取扱業務　学部独自の留学制度、単位認定、科目履修、成績などについて
受付時間　9：00-17：00（11：30-12：30を除く）

(2) 関連ウェブサイト

法政大学

- 国際交流センターHP　http://www.hosei.ac.jp/ic/
- 国際交流センターSA課 Facebook　https://www.facebook.com/HoseiSAcenter
- グローバル人材開発センターHP　http://global.ws.hosei.ac.jp/
- グローバル人材開発センターFacebook　https://www.facebook.com/hosei.university.global
- 法政大学HP（奨学金・貸費金制度関係）　http://www.hosei.ac.jp/campuslife/shogaku/

関連団体

- 日本学生支援機構（JASSO）　http://www.jasso.go.jp/
  「留学生支援」から「海外へ留学希望の方へ」を参照
- 外務省 海外留学総合案内　http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/hito/ryu/ryuugakuannai/
- 外務省 渡航関連情報　http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/
- 外務省 海外安全HP　http://www.anzen.mofa.go.jp/

語学関連

英　　語
- IELTS（アカデミック・モジュール）　http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html
- TOEFL® iBT　https://www.ets.org/jp/toefl

中　国　語
- HSK漢語水平考試　http://www.hskj.jp/
- 中国語検定試験　http://www.chuken.gr.jp/
- 華語文能力測検　http://www.sc-top.org.tw/jp/jp_index.php/

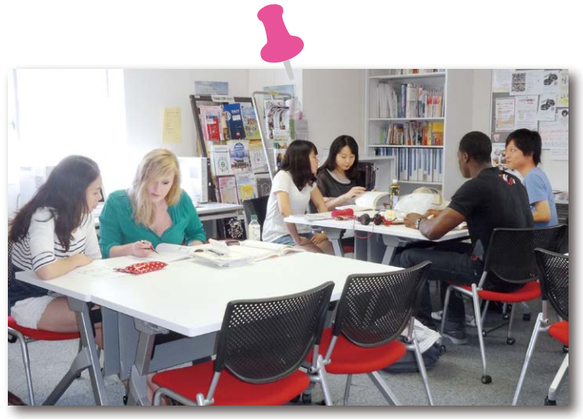
朝　鮮　語
- 「ハングル」能力検定試験　http://www.hangul.or.jp/
- 韓国語能力試験（TOPIK）　http://www.kref.or.jp/examination
- 韓国語能力評価試験（KLAT）【旧KLPT】　http://www.kets.jp/

ド イ ツ 語
- ドイツ語技能検定試験　http://www.dokken.or.jp/
- ゲーテ・インスティトゥートの検定試験　http://www.goethe.de/ins/jp/tok/lrn/prf/jaindex.htm

フランス語
- 実用フランス語技能検定試験　http://apefdapf.org/
- フランス国民教育省フランス語資格試験（DELF・DALF）　http://www.delfdalf.jp/
- フランス国民教育省・フランス語能力テスト（TCF）　http://www.ambafrance-jp.org/TCF

イタリア語
- 実用イタリア語検定　http://www.iken.gr.jp/exam.html

ロ シ ア 語
- ロシア語能力検定試験　http://www.tokyorus.ac.jp/kentei/about.html
- ロシア語検定試験（ＴＰＫИ　テ・エル・カ・イ）　http://www.taibunkyo.com/kentei/kentei.htm



【市ヶ谷キャンパス国際交流センター
学生交流室】

【国際インターンシッププログラム（バングラデシュ）】

法政大学 学生のための
海外留学の手引き

（学部生用）
2014年6月発行
編集・発行　法政大学国際交流センター
東京都千代田区富士見2-17-1